

回 答 書

塩田地域協議会
会長 南 雲 典 子 様

上田市長 母 袋 創 一
(塩田地域自治センター)

平成 26 年 1 月 31 日付で提出いただきました意見書につきまして、下記のとおり回答いたします。

記

1 地域内分権の確立と地域福祉活動計画等の総合的推進について

新たな地域自治の創出を目指し導入いたしました地域内分権につきましては、分権型合併以降、「地域の個性や特性が活かされ 地域力が発揮されるまちづくり」を最終目標に掲げ、まちづくりのステージを設定する中で、地域予算の創設や「わがまち魅力アップ応援事業」の推進、そして、「上田市自治基本条例」の制定に至る第 3 ステージまで取り組んでまいりました。

平成 24 年度からは、地域内分権確立に向けた最終段階の第 4 ステージと位置付け、地域が一定の裁量を持って決定する仕組みとして「地域経営会議の設置」や、その実現を行政側が支援する「地域担当職員の配置」及び「地域予算の確立」について地域の皆様に提案させていただいております。

このうち「地域経営会議」につきましては、地域協議会、自治会、各種団体の住民代表の皆様と市が一体となり、御提言のありました地域福祉などさまざまな地域の課題等を話し合い、解決に向けて共に行動するための住民自治組織と位置付けており、地区自治会連合会の区域など一定のまとまりの範囲で設置を目指しています。

また、「地域担当職員」は、地域福祉活動計画の推進など個別の事業を直接担当するものではなく、「地域経営会議」の円滑な運営や住民の皆様の主体的な取組を支えるとともに、地域と市（各部局）の調整役として配置したいと考えております。

地域内分権の確立に向けた取組につきましては、これからも地域の皆様と十分な協議を行いながら地域の実情に合った地域づくりを進めてまいりますので、引き続き御理解と御協力をお願いいたします。
(市民参加協働部市民参加・協働推進課)

市では現在、「住み慣れた地域で、ともに支え合い、生きがいを持ち、健康で安心して生活できる社会の実現」を基本理念とする第二次上田市地域福祉計画（平成 24 年度策定。平成 25 年度～平成 29 年度の 5 か年計画）に基づき、社会福祉協議会などとも連携し、住民が主体となる、ともに支え合う新しい福祉コミュニティづくりに取り組んでおります。

今回の地域福祉計画では、自治会等を単位とする「小地域福祉ネットワーク」を地域福祉の推進母体として位置づけ、地域福祉に関わりの深い自治会役員、民生委員・児童委員、福祉推進委員、健康推進委員などを構成員とし、相互連携の推進、以って地域福祉を総合的に進めることとしています。

自治会単位でこのネットワークづくりが進み、それが機能するよう、「住民支え合いマップ」の作成とその活用を推進すると共に、先進的な取組事例を紹介する「地域福祉推進フォーラム」や人材育成を目的とする「地域福祉推進リーダー養成講座」を地域福祉関係団体と協働で開催するなど、小地域福祉ネットワークを支援しております。

一方、自治会の規模は様々で、それぞれに地域の特性がある中で、一律に市が主導で進めていくことは、地域福祉の推進には有効的ではないと考え、各自治会の創意工夫をお願いしております。地域をつくるのは、まず地域の人々が中心になる必要があります。

御意見の「地域担当職員にコーディネート機能を付加できるかなどの検討」につきましては、福祉業務のみに地域担当職員の配置は現実的には困難と考えられますが、地域内分権の全体像を明らかにしていく過程において、福祉分野にも対応できるような体制の構築を、地域の皆様をはじめ市の関係部局との連携の中で検討する必要があると考えております。
(健康福祉部福祉課)

回 答 書

塩田地域協議会
会長 南 雲 典 子 様

上田市長 母 袋 創 一
(塩田地域自治センター)

平成 26 年 1 月 31 日付で提出いただきました意見書につきまして、下記のとおり回答いたします。

記

1 地域資源を活用した地域振興の取組について

全国でも有数の寡雨地帯である上田地域、とりわけ塩田地域は農業地帯であり、江戸時代からため池を利用して用水を確保し、主食である米作を中心に営農を継続してきました。

塩田平のため池は、仙石氏時代に主要なため池の多くが築造され、現在もため池を基本とした水利運営が行われており、地域の貴重な水文化を形成しています。昨年秋には仙石氏のふるさとである姉妹都市の豊岡市からコウノトリが飛来し越冬するなど話題を呼んでいるところです。

ため池の機能は、農業用水としてだけでなく洪水調整や生態系の保全など多面的な機能を有しており、地域における固有の文化遺産であり、平成 22 年には塩田平のため池群が全国ため池百選として認定を受け、地域での保全活動を実践していただいております。

平成 25 年 7 月には、このため池を地域資源と捉え、第 1 回ため池フェスティバルを地域が主体となり開催運営し、地域の伝統文化である雨乞い行事の百八手の再現を行うなど、地域住民はもとより地域を離れている方々にも大きな感動を与えました。引き続き年次計画でため池フェスティバル開催について準備を進めておられることに敬意を表するところでございます。

ご意見をいただきました「全国ため池フォーラム」につきましては、これまでの開催状況をみますと開催地域の県が実行委員会を組織し実施をしていることから、地元の皆さんからの熱意を長野県の担当部局へ伝えるとともに、上田市といたしましても塩田地域を中心とした「ため池フォーラム」の開催について県へ働きかけてまいりたいと考えております。

(農林部土地改良課)

塩田平は信州の鎌倉として重要な観光スポットであり、多くの観光客が訪れる観光資源が豊富に存在している地域であり、ため池につきましても、塩田平の田園風景や、美しい景観の中に溶け込まれた、観光客を魅了する貴重な観光資源のひとつでもあります。

ため池があることによって生み出される魅力的な光景を、地域で語り継がれてきた長い歴史の中の物語とあわせて観光客に紹介することにより、塩田地域の更なる観光スポットとしての魅力を高めるものと思われます。

塩田地域協議会の皆様が、ため池に対する視点を高めて、観光をはじめとする地域振興について検討協議をされてきたことは、大変に貴重なものであると認識しており、又今後の塩田地域の皆様の取り組みに大いに期待を抱いているところです。

御心配のとおり「全国ため池フォーラム」をはじめとする全国規模のフォーラム等を誘致するには地域活動だけでは限界がありますが、フォーラムの開催等はその内容、趣旨が重要となることから、フォーラム等の内容に精通して主体的に取り組むことができる実施主体を明確にすることが最も重要と考えます。

このことが明確になった上で、地域の皆様と市の関係各課の個々の役割や、それぞれの目的を達成するために不足する事柄を確認し、地域と行政が協働して取り組んで行くことが重要となっていくものと考えます。

御提言の「全国ため池フォーラム」の誘致につきましては、現在までの実績を尊重する中で、地域活動の一環として主体的に取り組んでいただき、地域の皆さまからの相談を受ける中で、市の関係課所と調整し、全国規模とするために不足する事柄等を調整していきたいと考えます。

(商工観光部観光課)